



2019 July

No.563

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

JCHO人吉医療センター 第53回地域協議会開催 第15回南九州地域3県県境医療連携懇話会



令和元年7月4日18時からあゆの里にて第53回地域協議会を、18時30分から第15回南九州地域3県県境医療連携懇話会を開催しました。

前日まで記録的な大雨警報が発令されており、南九州地域では災害本部の立ち上げ、避難勧告なども出ていました。それに伴い前日まで欠席の連絡も多くあり、開催が危ぶまれましたが、当日は梅雨の晴れ間となり無事開催することが出来ました。

地域協議会は、地域の医療についての協議や地域の実情に合わせて運営を行う為、地域有識者の意見を広く聞き、協議していく場となっています。23名の協議員で構成され、当院長から委嘱状の交付があり、議長には人吉市医師会長の岐部明廣先生が就任されました。

医療連携懇話会では、人吉・球磨・えびの・伊佐地域より医科歯科医療機関、薬剤師会、行政、消防の方々含め約90名の方にご参加頂きました。

医療情報提供の部では、「地域で必須な超急性期医療の現状と」題して、当院脳神経外科部長の牟田医師から「脳梗塞治療について」、循環器内科六反田医師から「循環器疾患について」の情報提供が行われました。その後、薬師

寺俊剛 副院長、人吉医師会 岐部明廣会長からご挨拶頂き、球磨郡医師会 山村正統会長の乾杯で開宴となりました。

開宴後は第7回日本医師会あかひげ大賞を受賞された緒方医院 院長 緒方俊一郎先生のご紹介をさせて頂きました。緒方先生より相良村で開業された当時の思い出を社会環境、医療情勢を交えてお話され、また、地域の先生方へ感謝を述べられました。その後、行政を代表し人吉市 松岡隼人市長にもご挨拶いただきました。会の後半では、新任医師の紹介や地域在宅サポートセンターの紹介を行い、最後に大竹秀幸副院長から威勢の良い一本締めで盛会の内に終了しました。

今後も地域の皆さんが安心して暮らせるよう、顔の見える連携を目標に毎年開催していきたいと思っております。

この度は、ご多用の中多数ご出席いただきまして誠にありがとうございました。当院スタッフ一同地域の中隔医療機関として役割を果たしていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

医療福祉連携室 杉松 紗織

「あなたの健康を地域全体でサポートします」 くまもとメディカルネットワークへ参加しよう

くまもとメディカルネットワークは、熊本県補助事業として熊本県医師会・熊本大学病院が中心となって、病院・診療所・歯科診療所・調剤薬局・訪問看護ステーション・介護施設・地域包括センターなどをネットワークで結び、参加者（患者）の情報を共有し、医療・介護サービスに活用する取り組みです。

当院も2015年に阿蘇・水俣・人吉とモデル地区に選ばれていましたが、2019年3月に熊本県地域医療連携ネットワークが締結され、拠点病院の要件に「くまもとメディカルネットワークの活用」が明記され、本格的に移動しました。

現在当院でも積極的に取り組み、参加同意書をデジタル化したことで同意書の取得時間を大幅に短縮し、2016年3月～2019年3月までの3年間で参加同意が205名でしたが、2019年4月は257名、5月は319名、6月は440名と増加しました。また、当院だけでなく人吉球磨

地域の医療機関でも参加同意を取っていただいております。参加者（カード発行数）は人吉球磨で3,000名（7/1現在）を超えました。

今後は参加者を増やすだけでなく利用施設が増えるような活動を行っていきたく考えています。くまもとメディカルネットワークは電子カルテ利用施設でなくても専用端末を設置するだけで利用が可能です。これを機に利用施設に参加をご検討いただけたら幸いです。



医療福祉連携室 山田 一裕

いつ受けるの？
いまでしょ!!

身体のメンテナンスしてますか？

予防医療センターでは、以下の内容で人間ドックを実施しています。自分の体の状態を知るためにも人間ドックを受けましょう。

詳しくは予防医療センター TEL 0966-22-7070 まで

<https://hitoyoshi.jcho.go.jp/kenkan/> 人間ドック

人間ドック項目料金表（税込）

区分	検査項目	料金（税別）
◆日帰りドック		
日帰りドック スタンダード	- 問診 ・ 医師診察 ・ 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力） - 血圧測定 ・ 呼吸機能検査 ・ 眼底検査（両眼） ・ 眼圧測定 - 尿検査（糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン） ・ 便潜血免疫反応検査（2日法） - 貧血検査（血色素量、赤血球数、ヘマトクリット、白血球数、血小板数、末梢血液像、MCV、MCH、MCHC、血清鉄） - 肝機能検査（アミラーゼ） ・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP、ALP、総ビリルビン、直ビリルビン、ChE、ZTT） - 血清蛋白検査（アルブミン、総蛋白、A/G比） ・ 血中脂質検査（総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） - 血糖検査（空腹時血糖、ヘモグロビンA1c） ・ 腎機能検査（BUN、クレアチニン、尿酸） - 血清検査（HBs抗原、HCV抗体、梅毒反応、CRP） ・ 心電図 ・ 腹部超音波検査 - 胸部X線撮影（直接撮影2方向） ・ 胃内視鏡検査 ・ 保健指導 ・ 結果説明	37,000円
日帰りドック プレミアム	- 問診 ・ 医師診察 ・ 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力） - 血圧測定 ・ 呼吸機能検査 ・ 眼底検査（両眼） ・ 眼圧測定 - 尿検査（糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン） ・ 便潜血免疫反応検査（2日法） - 貧血検査（血色素量、赤血球数、ヘマトクリット、白血球数、血小板数、末梢血液像、MCV、MCH、MCHC、血清鉄） - 肝機能検査（アミラーゼ） - 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP、ALP、総ビリルビン、直ビリルビン、ChE、ZTT） - 血清蛋白検査（アルブミン、総蛋白、A/G比） - 血中脂質検査（総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） - 血糖検査（空腹時血糖、ヘモグロビンA1c） ・ 腎機能検査（BUN、クレアチニン、尿酸） - 血清検査（HBs抗原、HCV抗体、梅毒反応、CRP） ・ 心電図 ・ 腹部超音波検査 ・ 胸部CT検査 - 胃内視鏡検査 ・ 大腸内視鏡検査（S状結腸まで） ・ 保健指導 ・ 結果説明	51,000円
◆2日人間ドック		
2日ドック	- 問診 ・ 医師診察 ・ 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力） ・ 血圧測定 ・ 呼吸機能検査 - 眼底検査（両眼） ・ 眼圧測定 ・ 尿検査（糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン） ・ 便潜血免疫反応検査（2日法） - 貧血検査（血色素量、赤血球数、ヘマトクリット、白血球数、血小板数、末梢血液像、MCV、MCH、MCHC、血清鉄） - 肝機能検査（アミラーゼ） ・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP、ALP、総ビリルビン、直ビリルビン、ChE、ZTT） - 血清蛋白検査（アルブミン、総蛋白、A/G比） - 血中脂質検査（総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） - 血糖検査（空腹時血糖、ヘモグロビンA1c） ・ 腎機能検査（BUN、クレアチニン、尿酸） - 血清検査（HBs抗原、HCV抗体、梅毒反応、CRP） ・ 心電図 ・ 腹部超音波検査 ・ 胸部CT検査 - 胃内視鏡検査 ・ 大腸内視鏡検査（S状結腸まで） ・ 糖負荷検査 ・ 保健指導 ・ 結果説明	1泊ドック （契約宿泊施設利用） 60,000円 通所ドック （宿泊なし） 53,000円
◆脳ドック		
脳ドックプラス 特定健診+ オプション脳ドック	- 問診 ・ 医師診察 ・ 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲） ・ 血圧測定 - 尿検査（糖、蛋白） ・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP） - 血中脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） - 血糖検査（空腹時血糖） ・ 頸部血管超音波検査 ・ 頭部MRI ・ MRA ・ 脳外科医師による問診（別日約30分）	34,000円
◆ドックオプション検査		
女性ドック セット	- 乳がん検査（乳腺＋甲状腺超音波検査、マンモグラフィ） - 子宮がん検診（子宮頸部細胞診、経膈超音波検査）	8,000円 ※通常10,000円
前立腺がん検査	PSA検査	1,000円 ※通常1,800円
オプション脳ドック	- 頭部MRI ・ MRA ・ 頸部血管超音波検査 - 脳外科医師による問診（別日約30分）	27,500円

高気圧酸素治療について

1. 高気圧酸素療法とは

大気圧よりも高い気圧環境の中で純酸素を吸って(呼吸)もらうことによって、病態の改善を図る治療法です。

2. おもな効果として

多量の溶解酸素による低酸素症の改善効果、溶解酸素と圧力の物理的効果、酸素の毒性を逆用するなどがあげられます。

3. 適応疾患

●一連につき 10 回を限度

- ア 急性一酸化炭素中毒その他のガス中毒（間歇型を含む）
- イ 重症軟部組織感染症(ガス壊疽、壊死性筋膜炎)又は頭蓋内膿瘍
- ウ 急性末梢血管障害
 - イ 重症の熱傷又は凍傷
 - ロ 広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害
 - ハ コンパートメント症候群 又は圧挫症候群
- エ 脳梗塞
- オ 重症頭部外傷若しくは開頭術後の意識障害又は脳浮腫
- カ 重症の低酸素脳症
- キ 腸閉塞

●一連につき 30 回を限度

- ア 網膜動脈閉塞症
- イ 突発性難聴
- ウ 放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍
- エ 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- オ 皮膚移植
- カ 脊髄神経疾患（化膿性脊椎炎など）
- キ 骨髄炎又は放射線障害（出血性膀胱炎・直腸炎・顎骨壊死・皮膚潰瘍など）

●一連につき 7 回を限度（発症後 1 か月以内に行う場合）

*減圧症又は空気塞栓（当院は第1種装置のため減圧症には対応していない）

4. 治療時間 約 90 分

5. 診療報酬 1 回 3000 点 但し減圧症又は空気塞栓は 5000 点

6. 当院での高気圧酸素治療導入からの実績

高気圧酸素療法	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
施行数	336	416	411	633	781	739	3316
症例数	42	55	58	81	92	86	414

症例数の内訳

腸閉塞	9	11	28	33	40	30	151
突発性難聴	15	25	17	26	24	13	120
ガス壊疽・壊死性筋膜炎	2	4	1	5	8	1	21
骨髄炎・顎骨骨髄炎	5	1	0	7	13	11	37
末梢循環不全による難治性潰瘍	4	8	4	6	1	9	32
網膜動脈閉塞症	0	0	1	1	1	2	5
一酸化炭素中毒	0	0	1	1	1	1	4
急性末梢血管障害・コンパートメント症候群	4	3	4	0	1	1	13
放射線治療又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍	0	0	0	0	1	12	13
開頭術後の意識障害又は脳浮腫	0	0	0	0	0	2	2
脊髄神経症（化膿性脊椎炎など）	0	0	0	0	0	2	2
放射線障害（膀胱炎・直腸炎）	0	0	0	0	0	2	2
適応外（腸管気腫、蜂窩織炎等）	3	3	2	2	2	0	12

高気圧酸素治療装置を導入して 6 年が経過しました。症例数 414 人、施行数 3316 回と多くの患者様が治療を受けられ補助療法として良い効果をもたらしております。その結果年々増加し、県内有数の施行数を誇るまでになっております。当院の特徴は、幅広い診療科（適応疾患）で活用されていることです。最近では悪性腫瘍への放射線治療または抗癌剤の増感目的や歯科の骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（anti-resorptive agents-related osteonecrosis of the jaw : ARONJ）が増加傾向にあります。適応疾患に積極的に高気圧酸素治療を併用することで、この人吉でも質の高い医療の提供が図れると考えます。
*外来での通院も可能です。

臨床工学部 臨床工学士 高気圧酸素治療専門技師
臨床高気圧酸素治療装置操作技師 上村 慎作

ファーストエイド

令和元年 6 月 29 日に当院でファーストエイド実技コースを開催しました。

ファーストエイドとは、救急・急変時に専門的な救急処置が開催されるまでの間、適切な救急・応急処置を行うことです。

第一印象から、気道・呼吸・循環・意識状態を評価し、緊急性を判断し対応していきます。救急・急変は病院で起こるとは限りません。そういった時に看護師としてどういう対応・対処を取るのかを学んでいきます。

受講生は、最初緊張していましたが、実技を重ねるたびに素早く状態を評価し、対応できるようになっていきました。後半は、緊張の中にも笑顔が見られ、楽しく学んでいたように思います。

今回のコースを通して学んだことを、今後の看護に活かしていただければ幸いです。皆さんの参加をお待ちしています。

5 西病棟 三倉 範子



INRAS は、患者さん見方や対応の個人のスキル、チームの意義を学ぶチームのスキル、必要なタイミングで医師を要請、報告する仕方や方法を体系的アプローチという手法で学んでゆく看護師対象のコースです。そのため、新人、中堅を問わず参加できます。人吉医療センターでは年 2 回の定期開催しております。INRAS ワークショップは指導者養成コースで、年 1 回の開催をし 2 年目となります。人吉・球磨地域だけでなく、鹿児島、宮崎からの参加者も増えており、今回は、プロバイダーコースは 21 名、ワークショップは 7 名の参加者でした。当院のインストラクターも 9 名に増え、院内だけでなく、院外からの参加があることで人の輪もひろがっております。みなさんも「愛ナース」になりませんか。

看護師 愛甲 宣代

INRAS ワークショップに参加し、翌日にはインストラクターとして参加しました。体系的アプローチの重要性と人に教える事の難しさを再認識し、インストラクションについて大きな学びを得ると



共に、奥深さを感じました。「何を学んでほしいのか」、「受講生の学びの為にどんな工夫をすればよいのか」をとっても考えました。今後もインストラクションスキルを磨き、INRAS だけでなく研修等で講義をする際にも活かしていきたいです。

看護師 米田 一恵

INRAS プロバイダーコースを受講して、今まで臨床の中で先輩達が何を観察して、評価しているのか分らなかった部分に分り、医師への報告の内容や方法、タイミングを知ることができました。学んだことを INRAS の中だけでなく、現場で活かして行けることが学べました。

看護師 中村 幹太

ハイパーサーミア温熱療法

ハイパーサーミアとは電磁波を用いてがん細胞を加熱することでがんの縮小や放射線治療、化学療法（抗がん剤治療）、免疫療法の効果の増強を目的とするがんの治療方法の1つです。

放射線治療は腫瘍に放射線を照射することによりがん細胞を死滅、あるいは増殖を抑えて、がん病巣の制御を図るものです。周辺臓器の



形態、機能のある程度温存させることが期待できますが、腫瘍の種類によっては放射線感受性が低く、効果が低いとされているものもあります。一般には低酸素細胞や低栄養状態の細胞などが原因とされていますが、ハイパーサーミアと併用して

治療していくことで、このような低酸素細胞、低栄養状態の細胞に対しても、放射線の増強効果があるとされています。また、放射線照射によるがん細胞損傷の修復過程を抑えることも分かっています。

また、化学療法は抗がん剤を用いてがんの治療をおこなっていきませんが、抗がん剤の効果と副作用は投与する容量に比例して大きくなっていきます。そこで、ハイパーサーミアを併用することで、効果を落とさず、投与量を減らし、副作用を低減できると言われています。

がんの治療方法は手術、抗がん剤、放射線治療など様々な手段がありますが、当院では、高気圧酸素療法、そしてハイパーサーミア温熱療法を組み合わせ、患者様の病状、生活に合った治療を提供してまいります。

ハイパーサーミア温熱療法に関しまして、治療の希望、その他ご質問等ありましたら、当院にご連絡をお願いいたします。

＜ハイパーサーミア外来のご予約＞

JCHO 人吉医療センター 予約センター (Tel : 0966-22-7878)



ハワイ研修を終えて

6月27、28日にハワイ大学の sim tiki simulation center で行われました研修に研修医の泉、高津、平畑の3名で参加しました。

2日間を通して救急患者への対応や小児救急についてシミュレーション形式で学ぶことができました。特にCPRではグループ間で役割を分担し、コミュニケーションを取ることの大切さを改めて実感することができました。普段はどうしてもやりっぱなしになってしまいがちなことも、今回のシミュレーションでは録画した動画を見てフィードバックすることができ、非常に有意義な研修となりました。

また、研修以外では、アラモアナにて買い物をしたり、ガーリックシュリンプを食べたり、海で溺れたり黒人にカツアゲされたりと日々充実した日々を過ごすことができました。



このような一生の思い出になる機会を与えてくださった全ての方に御礼申し上げます。ありがとうございました。

臨床研修医 平畑 健太郎

特別臨床実習 - 地域医療 -

私は地域医療実習にて人吉医療センターで3週間お世話になりました。

人吉・球磨地域にはラフティングなどで日帰りで来たことはありましたが、3週間と長く滞在したことはなく、とても楽しみに伺いました。

実習では主に総合診療科にお世話になりました。その傍ら、訪問看護に同伴したり五木村診療所に行ったり、救急外来を見学させていただきました。

それらの中でとりわけ地域の特性を感じたのは五木村診療所での実習でした。

五木村は人口1000人と少し、高齢化率は46%、後期老年人口割合は約28%（日本医師会 JMAP による 2015 年度統計）と全国平均を大幅に上回る高齢化が進む村です。その村にある唯一の医科歯科診療所が五木村診療所でした。

本当に沢山の患者さんが来られました。高血圧の薬を定期的に処方されている方、畑仕事で肩が痛くなった方、山で滑り落ちた方、胸焼けがするから胃カメラをしたいという方、とにかくお腹が痛いという方、熱を出した小学生、蜂のアナフィラキシーで救急車で来た方。

多彩な症状を訴えて来られる患者さんを的確に診察し、重症度を診断することはとても難しく、多岐に渡る知識が必要

であると感じました。診療所にはエコーとレントゲンもなく、救急車で医療機関への搬送は40分かかります。また、家族を支えている人を医療機関に搬送してしまうと、家に残された高齢者が生活できなくなってしまう。沢山の事情を加味して判断する必要がありました。いわゆる“僻地”“での地域医療の難しさをヒシヒシと感じました。

地域医療の厳しさを感じる一方で、五木村の自然の豊かさも感じました。山間の村故に激しいアップダウンはありましたが、どの高さから見ても、とても綺麗な川や沢山の木々が目に入ります。本当に豊かな自然に囲まれた村だと感じました。

私が今回見せて頂いたのはほんの一例で、全国には沢山の医療僻地が存在するのだと思いました。地理的に厳しい条件や医療資源の限りもある中で、そこに住む人々の生活と医療をどう維持していくのか。地域実習を通して、この点について真剣に考える機会を得ることができました。学生が考えても答えは出ませんが、これからは、医師になっても、考え続けていきたいと思っています。

本当に沢山の方にお世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



熊本大学医学部 6年 花澤 綾香

髪を切る

医療の進歩と共に、がん患者の生存率は改善し、仕事を持ちながら治療をされている患者さんが増えています。しかし、がん治療は副作用により、脱毛や、爪・皮膚などの外見の変化をもたらしてしまいます。それが、患者さんのストレスとなり、社会生活を送りにくくなってしまう事があります。

4年前、私はヘアドネーションについて知りました。ヘアドネーションとは病気や事故などで毛髪を失った子供のために、寄付された髪の毛でウィッグを作り、無償で提供する活動の事です。「ヘアドネーション」という言葉も知らない私でしたが、外科外来看護師として、アピランスケアを学ぶ中で、先輩看護師から刺激を受け、私にもできる事があると感じ、4年間伸ばしていた髪を切り、ヘアドネーションをしました。

私は今、有難いことに健康な体で不自由なく生活ができています。

髪が伸びる事も今の私には普通の事です。そのため、病気で毛髪を失う悲しみ

や辛さは、私が想像する以上の事だと思います。そのような辛い体験をしている18歳以下の子供たちに、ヘアドネーションで作られた医療用ウィッグは、無償提供されています。ヘアドネーションはいつでもできますので、皆さんもされてみてはいかがでしょうか？

病気と向き合い懸命に治療されている患者さんや、頭髪に悩みを抱える方々が自分らしく生活することができるよう。一人でも多くの方の笑顔の種になりますように。

外科外来 看護師 松田 ゆき



働くオトナの昼ご飯

「ランチをのぞけば人生が見えてくる！働くオトナの昼ご飯」でおなじみのサラメシを人吉医療センター ver. で紹介します。

第一回目は医療福祉連携室です。

現在、医療連携室スタッフは臨床心理士1名、社会福祉士7名、クラーク5名、事務員1名で構成されています。

連携室業務の他、初診時の問診、予約センター業務、救急外来業務等々あり昼休みは11:30から14:00くらいにそれぞれのタイミングで1時間の休憩に入ります。

食事・休憩場所は、他部署とワンフロアでつながっている4階の事務局で過ごす為、昼休み時間帯は連携室に人が集まる時間帯でもあります。

～サラメシ～ HMC ver.

また、4階事務局は電気湯沸かし器、電子レンジ、バリスタコーヒーがあり家電製品が充実しています。これさえあればある程度の調理はできる！とのことで今回出会ったランチを撮影しました。

コンビニ弁当、手作りお弁当、冷凍食品 etc...

同じ部署内でも隣の人が何を食べているか気になる・・・でも聞けない。あの人の活力はどこから来ているのか。そんなウズウズをサラメシで紹介していきたいと思います。

皆様からのご意見、そして撮影のご協力よろしくお願いいたします。

医療福祉連携室

女子力高めランチ



ガッツリ肉ドーン



コンビにて



サラダうどん+サラダ

HMC300円ランチ



お湯かけ3分
チキラー弁当



レンチン汁なし麺定食



目指せ
丸の内OLランチ



ガッツリ肉丼

愛妻弁当



産婦人科 大竹秀幸 Dr による健康教育講演会 「生と性」について

7月10日(水) 熊本県立球磨中央高等学校の1学年113名を対象に、当院産婦人科部長 大竹秀幸医師による「生と性」をテーマとした健康教育講演会が開催されました。講演では男女の身体の違いから生命の誕生、思春期の特徴、性の大切さとそのリスクについて話がありました。生命の尊さを実感し、生きることに大切なヒントを得られる講演となりました。生徒さんから講演の感想をいただきましたので、抜粋してご紹介いたします。

○僕たちと性はとても関わり深いものだと感じた。望まない妊娠を防ぐためにも避妊の重要性を知った。そして、外国では出産時のリスクが高いところがあることも驚きました。

○交通事故の死者数≠妊産婦の死亡者数と知り、また、発展途上国では先進国に比べて出産で亡くなる方の数が300倍と聞いてとても驚きました。出産には大きなリスクがあって、それを通して今の自分がいるのだと、改めて生まれて来られたことが幸せだと感じました。

○子供が生まれることは当たり前のように考えていたが、母親も赤ちゃんも健康で生まれることは大変だし、すごいことなんだと思いました。自分を生んでくれた母親に感謝したいです。

○若い人の性病が増えているので、気をつけたいと思いました。大人になって、子どもができたなら、優しく、時には厳しく、愛情をもって育てたいと思います。

○「育む」ことで初めて人間になっていくことを学びました。心も体も準備ができていないのに、何も考えずに赤ちゃんをつくってしまうと、中絶して命を奪ってしまうことになるので、そんな悲しいことがないように、自分やみんなの命も大事にしていきたいです。エイズなど性感染症になって死んでしまうことがあるのは、とても怖いと思いました。赤ちゃんは責任を持ってつくり、責任を持って産みたいと思いました。今、私がここにいるのは、お母さんが命がけで産んでくれたんだということを改めて感じました。親に感謝したいと思います。これからも命を大切にしていきたいです。



第12回 病院フェスティバルのご案内

9月1日（日）当院敷地内において開催予定の第12回病院フェスティバル（入場無料）では、ハイパーサーミア・アドバンスケアプランニング（ACP）に関する市民公開講座を予定しております。また、バザーも開催予定！どうぞ皆さままでおいで下さい！



【病院フェスティバル絵手紙コンテスト参加者募集のお知らせ】

- ・テーマ：「夏の日の思い出」
- ・サイズ：ハガキサイズ（15cm×10cm）
- ・応募方法：住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記まで郵送またはご持参ください。1人何点でもOK。
- ・応募〆切：令和元年8月16日（金）

※ご応募いただいた作品は全て病院フェスティバル会場に展示致します。また、受賞された方には商品を贈呈致します。

【絵手紙応募】 〒868-8555 人吉市老神町 35
人吉医療センター 病院フェスティバル実行委員会
Tel：0966-22-2191（担当：花牟禮）

ACP アンケート調査にご協力ください。

日本は現在、高齢社会を経て目前に超高齢社会、多死社会をむかえようとしている中、これまでの「治す医療」から「治し支える医療」への転換が求められています。厚生労働省では、人生の最終段階をむかえた本人や家族等と医療・ケアチームが最善の医療・ケアを作り上げるための合意形成のプロセスをACP（アドバンス・ケア・プランニング）と呼び、ガイドラインを策定しました。本人の意志を医療・介護現場でどのように確認していくのか、地域全体でどのように思いを共有していくのか、大きな課題です。しかし、相談を受け関わるはずの医療・介護・福祉スタッフのACPに対する認知度は低いように感じます。

そこで、当院では地域と共にACPの普及啓発活動を実施するに辺り、アンケートを実施し、認知度を調査します。対象者は人吉球磨地域の医療・福祉・行政機関に従事される方、地域住民とします。講演会や訪問時にアンケートを配布致しますのでご協力よろしくお願い致します。

看護師 山下 ルミ

高校生インターンシップ

7月2～4日、当院のインターンシップに参加した球磨中央高校の生徒さんから、感想を頂きましたのでご紹介させていただきます。

- ◆2日間のインターンシップを終えて私は色々学ぶことができました。まず初日はオリエンテーションを聞いて総務企画課や医事課の仕事内容などを聞き、大変なんだなと思いました。そして、今日は実際に医事外来業務をしてとても緊張しました。パソコンを使って作業するのが難しかったです。精算機の説明をしたときに患者さんから助かりますやありがとねなどと言ってもらった時はとても嬉しかったです。2日間、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

球磨中央高校2年 山下 玲奈

- ◆私は、この2日間のインターンシップを通して楽しかったこと、難しかったことを学ぶことが出来ました。楽しかったことは、私がこの医療センターにインターンシップをしに来た理由は“事務”と書いてあったからです。でも、インターンシップを通して、医療センターは楽しい場所だなと感じることが出来ました。少し興味を持つことが出来ました。これからしっかり進路を考えて決めていこうと思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

球磨中央高校2年 浦野 青空

新 任 紹 介



ながた のおこ
永田 颯子（五木診療所・歯科衛生士）
最終卒業校：熊本歯科衛生士専門学校
趣味：お菓子作り
モットー：楽しく学ぶ！！

性格：おっちょこちょい

自分のコマーシャル：慣れるまで時間がかかるかと思いますが、よろしく願い致します。

7月の勉強会報告

7月8日 106回消化器カンファレンス

「腹腔鏡下ヘルニア修復術」

当院 外科 江藤 二男先生

7月18日 人吉医師会学術講演会

「人吉医療センターにおける血液疾患治療の現状について」

当院 血液内科 縦田 三郎先生

「悪性リンパ腫の診断と治療～最近の話題を含めて～」

熊本大学大学院生命科学研究部

血液・膠原病・感染症内科学 助教 立津 央先生

7月19日 医歯薬連携講演会

「二次骨折予防と生命予後改善を目指した骨粗鬆症治療の取り組み」

国立病院機構熊本再春荘医療センター 整形外科 医長

川谷 洋右先生

「骨粗鬆症患者の顎骨壊死対策における医療連携の重要性」

松本歯科大学 歯学部歯科放射線学講座 教授 田口 明先生

